

シスコの戦略的「サービス指向型データセンター」が、耐障害性と機敏性を改善し、TCO を低減する

ストレージ、サーバ、データベース、そしてアプリケーションをグローバルデータセンターに統合し、最適化することで、戦略、経費削減両面における利益を享受する

シスコ IT は、非エンジニアリングタスク専用の事業データセンターを5基運用しています。このうち2基はサンノゼに、残りの3基はリサーチ トライアングル パークとアムステルダム、そしてシドニーにあります。

ビジネス上の利点

- √ TCO を大幅に削減
- √ ビジネスの耐障害性を強化
- √ ビジネスアジリティが向上
- √ 連続稼働時間が大幅に延長
- √ アプリケーションとサービスの迅速な展開

「この未来型データセンターは、固有のプラットフォーム環境から標準化されたネットワーク環境への移行段階にある」

-- Nick Gall, Meta Research

高性能なコンピュータ処理環境が実現し、アプリケーションやサービスの幅広い強化と、信頼性、可用性、保守性の最適化につながります。シスコ IT では、第1段階である統合フェーズがまもなく完了します。

シスコは現在、コストを削減し、データセンター内のストレージの柔軟性を向上させるため、巨大な共有ストレージエリアネットワーク (SAN) を構築しています。

ストレージリソースの統合により、シスコは毎年2億2500万ドルを削減、1MBあたりの総所有コストは0.12ドルから0.034ドルに減少しました。

多くの企業データセンターに言えることですが、データセンターの非効率な設計と運用は、高い所有コストや、プロビジョニングとアプリケーション開発の遅れ、不必要なダウンタイムにつながります。そこでシスコでは、管理を簡素化し、総所有コストを低減し、ビジネスの耐障害性と機敏性を向上させるため、これら5つのデータセンターのリエンジニアリングを促すビジネス事例を2004年までに構築しました。

これは、最終的に、米国内に1基のサービス指向型データセンターを、欧州およびアジア太平洋地域に、小規模なデータセンターを配備することを目指した3段階リエンジニアリングプロセスの第1歩となりました。この3段階プロセスでは、第1段階で、孤立型ストレージと処理リソースを統合し、巨大な共有プールへ集約します。第2段階では、ソフトウェアとハードウェアを使い、仮想ストレージと処理リソースを、個々のアプリケーションに合わせて切り出せるようにします。第3段階では、これらの仮想リソースをインテリジェント ネットワーク ファブリックにより、臨機応変に配分できるようにします。この新しいビジョンで重要となるのは、ストレージ ネットワーキング、グリッド コンピューティング、機器の仮想化、そしてアプリケーション指向型ネットワークの柔軟性です。この結果、非常に柔軟で、コスト効率がよく、

その他、各ビジネスソリューションに対する Cisco IT の事例研究は、
Cisco IT @ Work をご覧ください

<http://www.cisco.com/jp> (シスコシステムズ→Cisco IT@ Work)

付記

この文書に記載されている事例は、シスコが自社製品の展開によって得たものであり、この結果には様々な要因が関連していると考えられるため、同様の結果を別の事例で得られることを保証するものではありません。

この文書は、明示、黙示に関わらず、商品性の保証や特定用途への適合性を含む、いかなる保証をも与えるものではありません。

司法権によっては、明示、黙示に関わらず上記免責を認めない場合があります。その場合、この免責事項は適用されないことがあります。

©2004 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, および Cisco ロゴは米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. の商標または登録商標です。
その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標、登録商標または登録サービスマークです。
この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館
<http://www.cisco.com/jp>

お問合せ先(シスココンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter>

© 2004 Cisco Systems, Inc. All right reserved.

Important notices, privacy statements, and trademarks of Cisco Systems, Inc. can be found on [cisco.com](http://www.cisco.com)
Page 2 of 2